

正法寺の観音縁記によりますと、今から六〇年も前の正中の変の頃、佐渡において若狭湾の双児島の辺りにたどり着くと老翁は忽然と海中に姿を消された。これこそ阿新丸が常に信心していた観音菩薩の化身であり、一命を守護されたのでなかろうかと。

一老翁の庇護を受けて日本海に逃れた。そして若狭湾の双児島の辺りにたどり着くと老翁は忽然と海中に姿を消された。これこそ阿新丸が常に信心していた観音菩薩の化身であり、一命を守護されたのでなかろうかと。

正法寺の観音縁記によりますと、今から六〇年も前の正中の変の頃、佐渡において若狭湾の双児島の辺りにたどり着くと老翁は忽然と海中に姿を消された。これこそ阿新丸が常に信心していた観音菩薩の化身であり、一命を守護されたのでなかろうかと。

この形態の如意輪觀音像は奈良時代に朝鮮で多く鑄造され、日本にも伝えられたみ仏で太良庄の松林庵には古像が伝えられています。

正法寺のみ仏は鎌倉時代に製作されたもので当時の模刻像とのことですが、数が少なく大変貴重な像として注目を浴びています。

ほの暗いお厨子にましますみ仏は幾多の苦難を経て、静かに瞑想されているかにお見受けします。住職のお話ですと以前はみ仏の裳すそに貝殻の付着した跡が残っていたとのことです。無心に手を合わせますと遙かな潮騒が聞こえてくる、そんな

付着した跡が残っていたとのことです。無心に手を合わせますと遙かな潮騒が聞こえてくる、そんな



仏谷～堅海間に位置する双児島

## ふるさとのみ仏を訪ねて③ 正法寺の如意輪觀音像

又一説によりますと源平合戦の時平家が壇ノ浦で滅亡の折、御座船に祀られていた念持仏が流れ流れてこの海底に漂着したとも伝えられています。いずれにしましても余りにも立派な仏像ゆえにいろんな憶測がなされています。

付記 み仏の出現により坂尻村を仏谷と改称し、大橋五郎左エ門を脇左エ門と改名され、今もなお正法寺とのご縁を紡いでおられます。

若狭の語り部 倉谷千恵子

御詠歌  
世を救う誓ひは深き 海よりぞ  
出でて上野の 山にまします

上山觀音堂旧蹟の道しるべ



来年度にかけては二条院讀岐姫ターレにて内外海まちづくり協議会総会を開催します。  
平成29年度は補助金交付を受け夏・秋・冬と三度、それぞれに異なる形の「象の駅」を開催、備品として長机・イス・除雪機を整備しました。  
短歌大会授賞式の準備を進めており、さらに長期的なコミュニティの在り方を探るため、高知県梼原町の取り組み視察も行いました。これらを総括し明日の内外海を考える総会になります。  
協議会委員の皆さんのお席をお待ちしています。

30	29	23	16	15	9	2
日	日	日	(月)	(日)	(月)	(月)
(月)						

家庭の日  
昭和の日

### 【4月の休館日】

2月25日（日）旧阿納尻小学校にて今年度の「象の駅カキまつり」が開催されました。

カキをはじめとする地区特産品の販売は好調で、来場者の混雑具合から昨年とくらべて人出はやや少なめかと思われたのですが、終わってみれば昨年を上回る販売量となりました。

また、厳しかった寒さがこの日は緩んで穏やかに晴れ上がり、買ったカキをすぐに食べられる屋外蒸し焼きコーナーは、順番待ちの列が絶えませんでした。

校舎内に目を移すと、地区内外からの飲食店や雑貨販売、体験コーナーなどの恒例の参加者に加えて、今年は内外海小学校5年生による学習展示もありました。

テーマは水産業を通して見た内外海地区の特色・魅力で、多くの来場者が足を止めていました。

今回、自ら情報を集めて行程に組み入れた県外のバスツアーもあり、想像以上の広がりがうかがえました。一人でも多くの参加者に楽しんでもらえるよう、次につなげていきます。

最後になりますが皆さん、本当にお疲れ様でした。



# ／退任のご挨拶／

今年も梅の花が満開となり春がすぐそこまでけでいます。

思い返しますと昨年の今頃は、この区長会長という職を預かり、この一年をどうやって乗り切ろうかと毎日思い悩む日々が続いていましたが、小学校の入学式から始まり敬老会、体育祭、ふるさと祭り、そして各種会合などに参加させていただいているうちに一年がすぎ、まさに光陰矢のごとく、あつという間に過ぎ去つてしましました。

区長会長をさせていただいたことにより各行事、事業に関わることができる内外海地区の現状や問題点を少しばかりは知ることができたかなと思っています。また今年度は台風の被害はあったものの、大雪や大きな事故も無く無事に一年を終えたことに安堵感を覚えています。私はこれで区長の役に就くことはありませんが、今後この経験をふまえて微力ですが内外海のお役に立てればと思っています。

平成29年度 内外海地区区長会長  
濱本 彦幸



日頃から内外海地区子ども会育成連絡協議会の活動にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年、子ども会の会長をお引き受けしたときは、勤務地が遠方で単身赴任の身であることから、「本当に大丈夫だろうか」、「一年間務まるのだろうか」とても大きな不安を抱えた平成29年度の内外海地区子ども会のスタートでした。しかししながら、おかげさまで役員や事務局の公民館の方々をはじめ多くの保護者の皆様のご協力のもと、何とか一年間務めることができます。厚くお礼申し上げます。

今年度は、主な活動として、夏には「あつと・ザ・サイエンス（光と色の実験）」や「こども教室（宿題会・浜中プラスバンド交流会）」を開催しました。冬には「かるた大会」に加え、「あつと・ザ・サイエンス（エネルギー工作）」を開催しました。一年間、これらの行事に参加している子どもたちを見ていると、皆それぞれに違う個性があり、各々が一生懸命に取り組んでいる姿はとても強く印象に残りました。

内外海地区  
子ども会育成連絡協議会会長  
瀬戸 久武

子どもの時の体験（経験）は、その一つが子ども会の行事であれば大変うれしく、子どもたちの何かの“きっかけ”的場として、子ども会の活動の継続はもとより、活動の拡充に向け、今後も引き続き皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 内外海小学校卒業式 ご卒業おめでとうございます

3月19日（月）、内外海小学校にて平成29年度の卒業式が挙行され、13名の児童たちが6年間通った学び舎を卒業していきました。



「志の道」は、新たな装いで在校生たち、そして次の新入学生たちに受け継がれていきます。

卒業生たちの思い出が詰まった「道」は、新たに登り口看板が完成し、卒業式に先駆けて設置されました。

小学校裏に整備された登山道「志の道」。6年生児童たちが卒業制作として取り組んでいた登り口の大看板・案内板が完成し、卒業式に先駆けて設置されました。

「志の道」登り口看板完成



平成29年度卒業生名簿	
石田	優衣（甲ヶ崎）
泉本	彩翔（阿納尻・府中）
河原	美和（仏谷）
奥城	千陽（甲ヶ崎）
左近田	将吾（甲ヶ崎）
澤田	陽太（阿納）
瀬川	陸哉（泊）
下丞	千陽（甲ヶ崎）
左近田	将吾（甲ヶ崎）
澤田	陽太（阿納）
瀬川	陸哉（泊）
富田純一郎	（西小川）
村上真結子	（西小川）
八原和奏	（田嶋）
山下宗大	（阿納尻）
領家堅	（阿納尻）
八原光希	（田嶋）
山下宗大	（阿納尻）



完成までには地区の万々による数多くの協力もありました

